

正化とサービスの向上のための効果的な事業の推進を図るとともに、介護保険制度の見直しに向けて、地域の実情を反映させた第3期介護保険事業計画を策定する。

#### (6) 保健部門

町民一人ひとりが自分自身の健康づくりに関心を持ち、生活習慣の見直し等に主体的に取り組みることができるように積極的に働きかける。

また、心身ともに自立し、生涯を健康に過ごすことのできる健康寿命の延伸を促進するため、各関係機関と連携を図りながら実効性のある保健活動を推進する。

#### (7) 国民健康保険・診療所部門

人口の高齢化や医療の高度化などにより国民医療費は増大の一途をたどり、各種医療保険の財政基盤を根底から揺るがしている。中でも国民健康保険は、構造的に高齢者や低所得者層が多く、その運営は危機的状況となっている。

このような状況の中で本町の国民健康保険も極めて厳しい財政運営を強いられており、保健事業の充実などにより保険給付費の抑制を図る一方、国保税の適正賦課・徴収による収入確保など新・国保3%運動の積極的な推進により、国民健康保険事業の健全化と安定化に努める。

国保診療所については、地域における第1次医療機関としての役割を担うため、地域住民に親しまれ受診しやすい診療所づくりに努

めるとともに、診療所運営の健全化と効率化を図りながら、保健事業などの予防活動を展開し、地域住民の健康づくりに資する。

#### (8) 県立北宇和病院の有効活用

平成18年3月で県立北宇和病院は廃止と決定されている。町民の強い要望もあり、これまで住民とともに県立北宇和病院の存続について運動を展開してきたが、県当局の県立病院としての役割は終わったとの姿勢を覆すことができないまま、断念せざる得ない結果となった。

しかしながら、医療機関としての存続は住民の願いであり、県当局との協議の結果、公設民営方式をもって病院の開設を目指すことを決定したところである。今後、県当局との連携を密にし、受け皿となる関係機関の確保に努める。

### 4 個性を生かす教育の推進と豊かな生涯学習社会の形成

#### (1) 学校教育部門

完全学校週5日制のもと、ゆとりある教育活動や学校・家庭・地域社会が一体となった教育環境づくりを推進し、豊かな人間性や生きる力に満ちた子供たちを育成するとともに、自ら学び考える力を育てる学習習慣を身につけさせるため、基礎・基本を重視した「確かな学力」の向上に努める。

また、特色ある学校づくりを推進するため、各学校が創意と工夫

を凝らした学校経営に取り組みとともに、児童生徒の個性を尊重し、実態に即した教育を展開する。

なお、教育環境の整備充実を図るため、泉小学校の大規模改修工事を実施するとともに、耐震診断を実施し児童生徒の安全確保に努める。

さらに国際化や情報化社会に対応するため、コンピュータシステム等を活用し、情報教育の積極的な推進を図る。

学校での人権教育は、お互いの人権が尊重されるよう児童生徒の発達段階に応じた指導を行うとともに、全教職員の人権意識の涵養に努める。また、学校給食については、地元の新鮮で安全な農林産物を食材としたメニューを提供し、給食内容の充実を図るとともに、施設内衛生管理の徹底と給食環境の充実・強化を図る。

#### (2) 社会教育部門

豊かな心で、充実した生きがいのある人生を送るため、情操豊かな人間性を育てるとともに、生涯を通じて「教養の向上」と「人格の形成」に努める。また、学校週5日制の実施に伴い、奉仕活動や体験活動が地域でできるよう支援するなど、子供を育てる環境の充実を図る。地域社会の教育力を高めるため、家庭・学校・地域社会が連携・協調を図りながら、町民総ぐるみによる人間性豊かな青少年の健全育成に努める。

#### (3) 公民館部門

公民館を取り巻く社会状況も、公民館が開設された時代とは大きく異なり時代の変化とともに、人々の多様化、高度化する学習需要や生涯学習社会の進展などの新たな状況に対応した社会教育の推進が求められている。こうした状況の中で、改めて公民館が生涯学習推進の中核的な施設として、地域づくり、人づくりに期待とその果たすべき役割が大きく問われているところである。

地域の教育力を高めるとともに、地域文化を伝承し地域の活性化を促進するためにも、早期に旧広見町と旧日吉村の公民館活動の一体感を図り、社会教育団体との連携の下、活力ある公民館活動を展開する。

#### (4) 体育部門

快適な生活を営み、体力の向上と健康の保持増進を図るため、「総合型地域スポーツクラブ」を充実し、町民総参加によるスポーツ・レクリエーションの振興と各種体育活動の推進に努める。

また、長年にわたり体育・レクリエーションの中核施設として整備してきた「鬼北総合公園」が完成した事により、各施設の利用者も増加しているため、今後は、充実した施設とその機能を効率的に運用するとともに、その他の施設においても、順次設備等の整備充実を図り、健康づくり・体力づくりなど、健康教育の推進と生涯スポーツの進展に努める。